



【シンビジューム】

シンビジュームは寒さに強く丈夫で育てやすい洋ランですが、「葉ばかりが茂り花が咲かない」「花がそろそろ終わりそうだけど今後の育て方がわからない」と言うお話をよく耳にします。そこで、どうしたらまた花を咲かすことができるのか紹介していきたいと思います。

☆春～秋まで芽かき作業をしよう！！

バルブはラン特有の器官で、株の根元にある丸くて大きく膨らんだ部分のことで、ここに株の生育や花が咲くための必要な水分や養分が蓄えられています。このバルブの横から春に新芽が出てきて、その新芽が秋までに親株と同じくらいの大きさになると、花芽がつきます。全ての新芽を育ててしまうと養分が分散し、バルブが十分に大きくなれず花芽が出なくなり、結果、葉ばかりになります。一つのバルブに対して1つの新芽を残すようにし、他の新芽は取り除いてください。これを芽かき作業と言います。指で芽を押すとポキッと折れます。秋になると花芽も出てくるので注意しましょう。花芽はふっくらしています。不安な場合は葉と確認できるまで少し様子を見て下さい。

☆5月末までに植え替えや株分けをしよう！！

株が増えて鉢からはみ出しそう、そんな時は株分けや植え替えをして、新芽を育てるスペースを作っておげます。株分けをする場合は、最低でも3個以上のバルブで1株になるように切り分けます。葉がないバルブでもしっかりしたものは生きていて、新芽に養分などを送っているの切り離さず残します。株分けの場合は一回り小さな鉢へ、植え替えの場合は一回り大きな鉢へ、市販のラン用土などで植え込んでください。

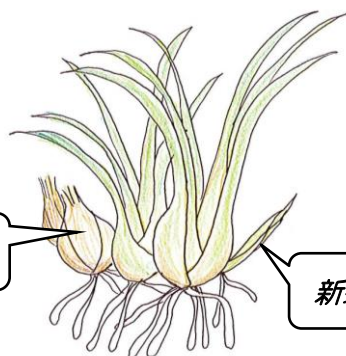
☆シンビジュームは、水、肥料、日光が好き♪

花後から9月頃まで、水や肥料切れに注意し、葉焼けしない程度によく日に当てます。秋～冬は徐々に水を減らしていき肥料は与えません。

☆薄霜が降りるようになれば、室内へ移動させよう！！

室内のできるだけ日当たりの良い場所に置きます。暖房の風は良くありません。つぼみが伸び始めたら花を咲かせるために水分が必要なので水やりの回数を増やします。つぼみが開く前に急に暖かいリビングなどに場所へ移動させるとつぼみが黄色くなり落ちる可能性があるため、花が開き始めてから移動させて下さい。花を長く楽しみたい場合は、玄関や暖房が入っていない涼しい部屋がおすすめです。来年か再来年かわいい花が咲くことを願っています。

絵・文：濱田 夕子相談員



【一鉢で四季を感じる木と

山野草のかわいい寄せ植え】

日時：5月20日（土）10時～12時

場所：花とみどりの相談所

講師：武部 雅子さん（園芸研究家）

定員：24人

費用：2,500円

申込：5月13日（土）9：15～ 電話可

【ミニセントポーリアを使った

寄せ植え作り】

日時：5月27日（土）13時30分～15時30分

場所：花とみどりの相談所

講師：同所相談員

定員：24人

費用：1,500円

申込：5月20日（土）9：15～ 電話可

ゴーヤで緑のカーテンづくり

ゴーヤを育てて“みどりのカーテン”の涼しい日かけを作しましょう

壁面緑化や、地球温暖化防止効果にもつながります！

費用：各100円 事前申込み要

千里文化センター「コラボ」	5月18日(木)	13時30分～15時30分	30人
くらしかん(とよなか消費者協会)	5月23日(火)	13時30分～15時	30人
庄内公民館	5月30日(火)	13時30分～15時	15人
環境交流センター	6月8日(木)	10時～11時30分	20人
蛭池公民館	6月9日(金)	10時～11時30分	15人

※申込みは、各施設にてお願いします。なお、くらしかんの申込みは、
花とみどりの相談所になります。

お申込み等詳しくは
広報とよなか5月・6月号
をらんください。



花とみどりの相談

相談時間は、**火曜日・木曜日**の13時から16時30分です。
電話による相談もなっています。

《5月の休所日》毎週の日曜・月曜日と3日(水)4日(木)5日(金)です。

花とみどりに関する相談を
受け付けています。



豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曾根南町1丁目4番1号(豊島公園内) 阪急宝塚線 曾根駅南 徒歩5分

TEL 06-6863-8439 FAX 06-6863-3638